

## 令和元年度 中国地方建設技術開発交流会 質問及び回答

課題名：ICT 活用工事（土工・舗装工等）に関わる基準類の解説

発表者：国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター  
社会資本施工高度化研究室 研究官 金森 宗一郎

### 《質問》

現在まで当社でも数現場 ICT 施工を実施しているが、設計単価が標準化されており、今まで利益が出たことがありません。

日平均施工量等のお話もありましたが、現場の状況により大きな差があると思います。

現場条件も大型大型土工事で、搬出先等が確定しており、運搬ルート等も整備されていれば、平均的な出来高も可能ですが、そうでない場合は、MC（MG）の重機のリース代も増えて、対応の難しい状況です。

また、起工測量と完成（出来形）測定は良いのですが、法面の逆巻き施工や小段の排水等あった場合、掘削途中でも数回の測量が発生します。

当社では、UAV 測量やスキャナー測量は、外注へお願いしていることもあります。

上記のこともふまえ、実績（歩掛り）積算にはならないのでしょうか？

### 《回答》

ご質問ありがとうございます。

現在、ICT 土工の切土、盛土工の直接工事費分はパッケージ積算として公表されております。その他の工種についても、標準歩掛策定の方針により順次基準化が進められていくものと認識しております。

なお、積算基準の詳細に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課  
電話 :03-5253-8111

ところで、施工の途中段階で何度か測量を行う場合には、その全てで TLS や UAV を用いなくても ICT 活用工事とするよう、要件が緩和されております。

ICT活用工事（土工）実施要領 p.6

<http://www.mlit.go.jp/common/001230307.pdf>

また、自治体のモデル事業で実施した工事における ICT 施工に関わる課題と対応事例がまとめられております。

現場に適した ICT 機材の運用を行う上での参考にしてください。

ICT活用における課題と対応事例

<http://www.mlit.go.jp/common/001303211.pdf>